

VI 施策

別府市の自殺の課題に基づき、「基本施策」と「個別施策」、「生きる支援関連施策」を重層的に実施します。

基本施策

- 1.地域におけるネットワークの強化
- 2.自殺対策を支える人材の育成
様々な職種や一般市民等を対象とする研修、関係者間の連携調整を担う人材育成 など
- 3.市民への啓発と周知
リーフレット等の作成と活用、講演会・イベント等の開催 など
- 4.生きることの促進要因へ支援
居場所づくり、自殺未遂者や遺された人への支援
- 5.児童生徒のSOSの出し方に関する教育
SOSの出し方に関する教育の実施とSOSの出し方に関する教育を推進するための連携の強化

個別施策

- 1.子ども・若者対策
いじめを苦しめた子どもの自殺予防、若者の抱えやすい課題に着目した学生・生徒への支援の充実 など
- 2.労働者・経営者対策
職場におけるメンタルヘルス対策の推進、過労自殺を含む過労死等の防止について など
- 3.生活困窮者対策
相談支援、人材育成の推進、居場所づくりや生活支援の充実 など
- 4.無職者・失業者対策
失業者等に対する相談窓口等の充実、職業的自立へ向けた若者への支援の充実 など
- 5.高齢者対策
包括的な支援のための連携の推進、地域における要介護者に対する支援 など

生きる支援関連施策

- 1.各分野における人材の養成及び資質の向上
- 2.心身の健康維持や生活基盤の安定を図るための体制整備
- 3.問題を把握し、適切な相談窓口へ繋ぐ
- 4.各分野での普及啓発
- 5.各分野の行政計画の推進
- 6.地域のつながりを深める
- 7.関係機関の連携による支援や地域づくり

一人で悩まず、身近な人や下記へ相談を。



別府市民のいのちを支える

別府市自殺対策計画

概要版

(2019年度～2023年度)



©Team Beppyon

I 計画策定の趣旨

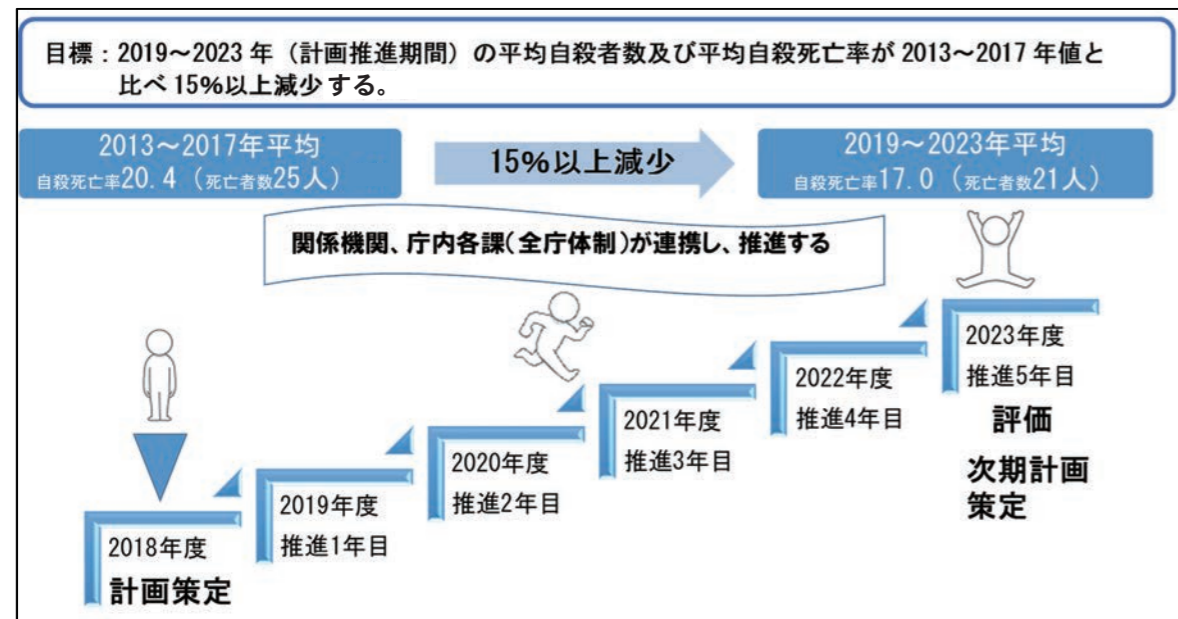
別府市の自殺死亡者数は増減を繰り返し、様々な自殺対策を講じているにも関わらず社会情勢等の影響を受け、深刻な事態を脱し難い状況にあります。そこで別府市では、別府市民のいのちを支えるため「別府市自殺対策行動計画」を策定し、自殺対策を総合的・効果的に推進することといたしました。計画に基づき、「誰も自殺に追い込まれることのない社会」の実現を目指します。

II 計画の期間

計画の期間は、2019年度から2023年度までの5年間とし、市民の健康課題やニーズ、社会情勢に応じて見直しを行います。

III 計画の数値目標

計画では、計画推進期間である2019年から2023年の平均自殺死亡者数及び平均自殺死亡率が2013年から2017年値と比べ15%以上減少となることを目指します。



IV 計画の推進体制・進行管理

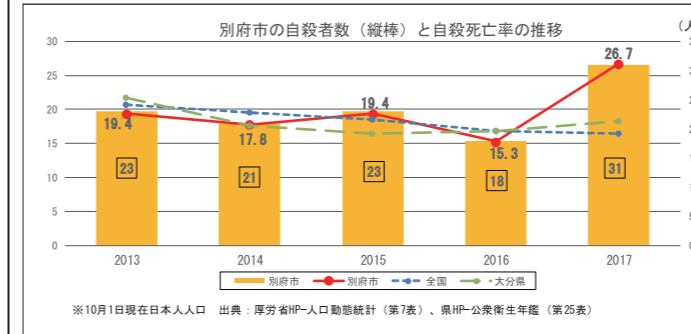
計画の実効性を高めるため、2019～2023年度の間、学識経験者や市民代表、行政、保健、医療、福祉、経済・労働等の幅広い分野における関係機関の代表者で構成される「別府市自殺対策計画策定推進委員会」と、別府市の全部局の代表者で構成される「別府市自殺対策計画庁内検討委員会」において、計画の進捗状況の確認や評価、審議を適宜行います。また、PDCAサイクルを回し、自殺対策を常に進化させながら推進いたします。

V 別府市の自殺の現状と課題

統計による現状

○自殺死亡者数、自殺死亡率^{※1}

全体的には減少傾向だが、単年では増減を繰り返している。



○男女別自殺死亡率^{※2}

男性が女性の約2倍。

○年代別自殺死亡率^{※2}

50歳代、70歳代、60歳代の順に高い。

○自殺原因・動機別割合^{※2}

健康問題、不詳、経済・生活問題の順で高い。

○職業別^{※2}

無職者、被雇用者、自営業等の順で高い。

※1：1998～2017年推移 ※2：2009～2017年累計

別府市民意識調査による現状

○自殺念慮の経験

- これまでに「本気で自殺をしたいと考えたこと」がある人は27.4%。
- 最近1年以内に自殺念慮を経験した人は6.3%。男女とも年齢(20～40歳代)が若いほど高かった。
- 健康状態がよくない人やストレスが大いにある、支えてくれる人が周囲にいない、相談や助けを求めることが恥ずかしいと思う人が自殺念慮を抱く割合が高かった。
- 男性は離婚や、病気、障がいによる無職という状況が、自殺念慮を高めていた。

○自殺念慮への対応

「死にたい」と打ち明けられた時の対応で、説得や叱る、励ますといった不適切な対応を選択した人は13.9%。

○自殺念慮の乗り越え方

「趣味や仕事で気を紛らわす」、「家族や友人、同僚に悩みを聞いてもらう」の順で多かった。

調査期間：2018年7月～8月 対象：20～79歳市民2,000人

有効回答数：584人(回答率29.2%)

<課題>

- ①市民それぞれがストレスに対して適切なセルフケアや対処をできるよう、必要な情報を適時得られるようにする。
- ②市民が身近な人の自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を取れるよう、理解や知識を深めることができるようにする。
- ③とくに健康問題や経済的不安を抱える市民が、孤立せず必要な支援を得られるようにする。
- ④別府市全体において、地域内の繋がりがより深まり、相互扶助の文化が醸成されるようになる。

これらの体制整備と充実を進めていきます